

09 大阪府摂津市

摂津市で防災協力農地の看板を設置し市民へ周知！



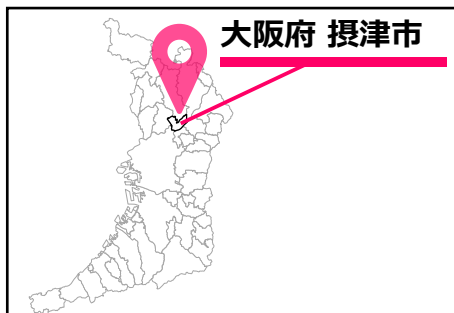
摂津市防災協力農地標識設置の様子

都市農業地域共生推進等支援事業

01

地域支援型

防災協力農地の導入



事業の背景

<現状>

- ・大阪府摂津市は、淀川と安威川に挟まれた水害に弱い地域。
- ・阪神・淡路大震災を契機に、地域防災計画に基づき、安全・安心のまちづくり、防災機能の整備を推進。さらにこれらを強化するため、農地の持つ防災面での機能に着目し、令和2年度に「防災協力農地登録制度」を制定。
- ・現在、市内で35箇所、4.4haの防災協力農地が登録されている。

<課題>

- ・市内の農地を守るとともに、市民に「防災協力農地」を示し、認知してもらうための対策を講じる必要がある。

取組概要

◆実施体制

摂津市防災危機管理課と産業振興課が連携し、農地所有者へ防災協力農地の登録勧奨を実施。また、案内標識を設置し防災機能の地域住民等への周知を図る。

◆取組内容・効果

- ・令和4年4月時点で登録されていた35箇所、4.4haの農地所有者に対し、案内標識の設置可否についてヒアリングを実施。設置可と回答があった27箇所、3.2haの農地に、防災協力農地案内標識を設置。
- ・令和5年3月31日時点で登録されている農地は41箇所、5.1haに増加している。